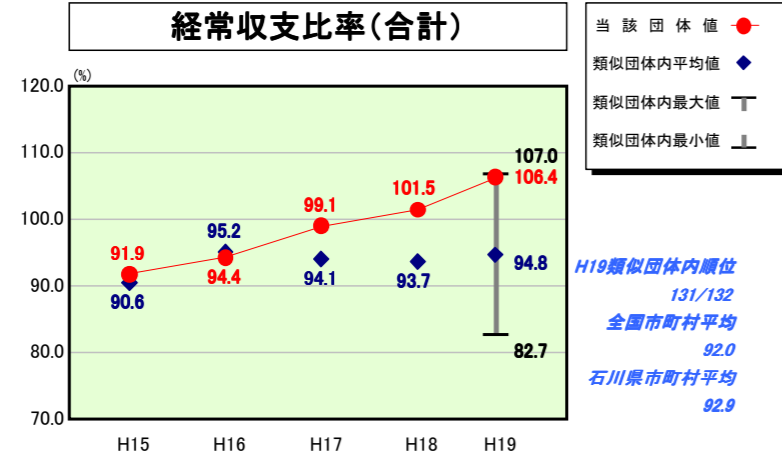


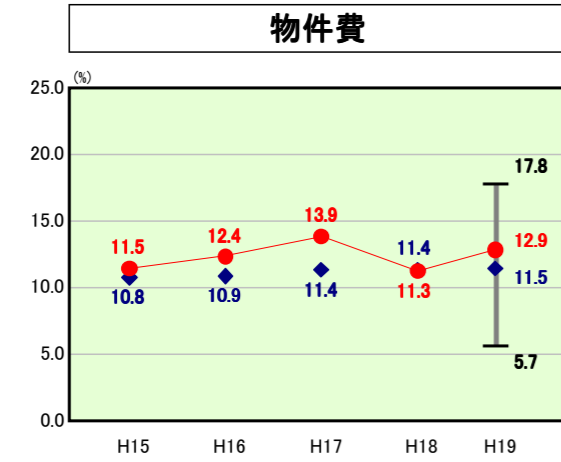
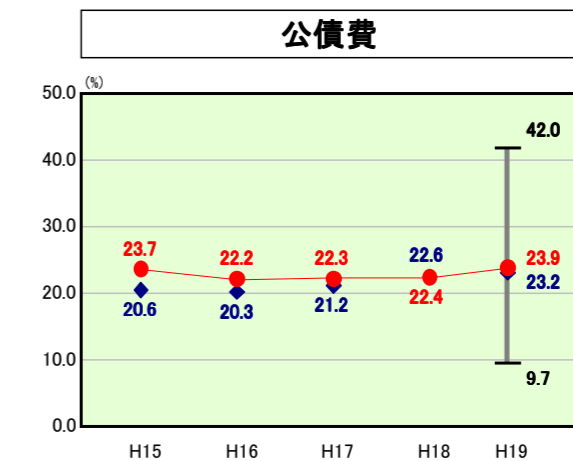
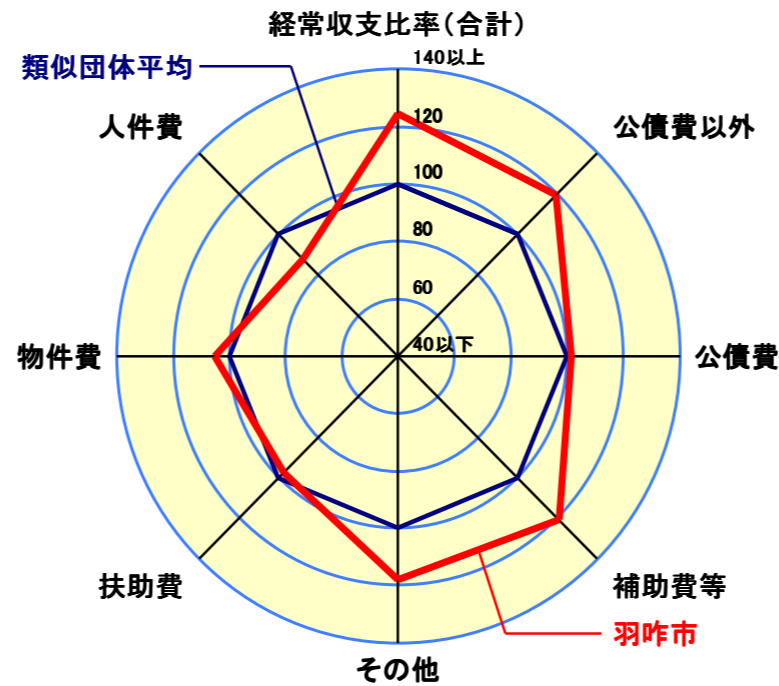
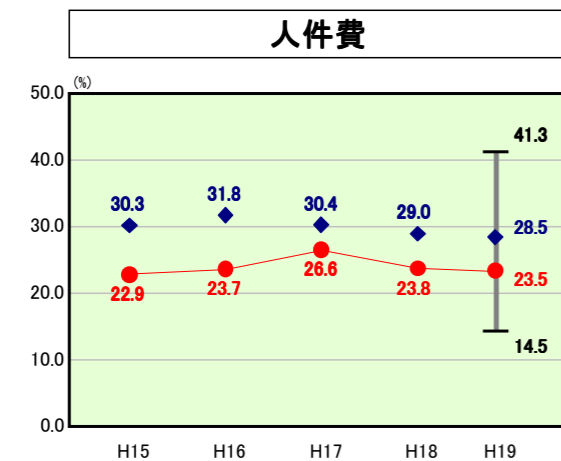
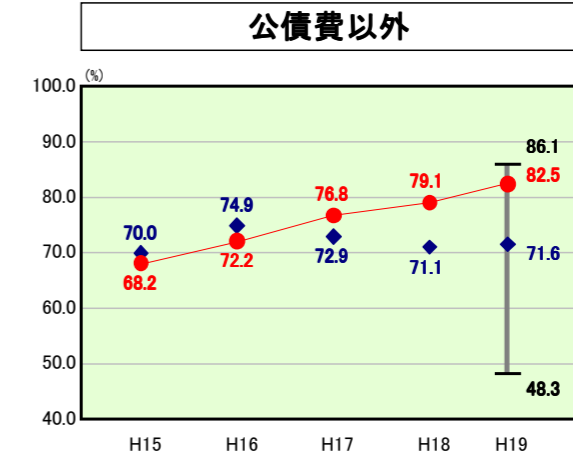
# 歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

石川県 羽咋市

## 経常収支比率の分析



人口	24,548人(H20.3.31現在)
面積	81.96 km <sup>2</sup>
歳入総額	9,727,776千円
歳出総額	9,677,415千円
実質収支	44,175千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**人件費:** 職員定員適正化計画に基づく職員数の削減や、特別職(市長、副市長)及び教育長の給料月額や期末手当のカット、一般職の給料及び管理職手当のカット等により、人件費全体では類似団体と比較して低い水準にある。しかし、人件費の内訳では、羽咋郡市広域圏事務組合への人件費相当分の負担金が類似団体と比較して多くなっている。なお、集中改革プランにおける平成22年度の目標職員数(233人)は、平成20年4月に達成したので(217人)、職員定員適正化計画の見直しを行い、平成25年4月の職員数を200人とする新たな目標を立てた。今後も民間委託、市役所の機構改革などにより職員数の削減を進め、人件費関係経費の抑制に努めていく。

**物件費:** 平成18年度は指定管理制度による管理施設のコスト削減効果や各種事業の受益者負担見直しにより一般財源が減少したが、平成19年度新たに市民会館や体育施設など指定管理による管理施設が増加し比率が上昇した。今後、民間活力を利用した効率のよい運営によるコスト削減効果が出てくると見込んでいる。

**補助費:** 補助費は横ばい傾向にあるが、公設民営保育所の委託にかかる補助費が増加傾向にある。

**補助費等:** 補助費等にかかる経常収支比率が類似団体平均を上回っているのは、一部事務組合への分担金及び土地開発公社経営健全化計画に基づく公社への補助金が多額であるためである。今後も増加傾向であるが一部事務組合に対しても、コスト削減に努め効率のよい財政運営を行うよう求めていく。

**公債費:** 公債費は横ばいであるが、借換や建設事業費の圧縮により新たな地方債を抑制しており、平成20年度をピークに減少していく見込みである。

**普通建設事業費:** 小学校などの大規模な建設事業は平成17年度で終了し、平成18年度及び平成19年度は主に道路事業を中心に事業を厳選し必要最小限とした。平成20年度以降も低水準を維持していく計画である。

